

利用者の声も聞かず こまバス大幅減便！

10月1日からこまバス大幅減便 続報

コミュニティバス「こまバス」は現行の一日18便(朝7時から夜8時まで)が9便に半減し、狛江駅始発は朝9時半、最終便は15時半で、その前後の便はなくなります。

前号でお知らせした通り、8月31日社保協(こまえ社会保障推進協議会)は市長あてに「こまバスの大幅減便中止を求める」署名を、813人の賛同を得て提出しました。

市は聞く耳持たず？

9月7日の市議会一般質問で日本共産党の荒木てつ議員が「大幅減便止めよ」、「せめて市民説明会を開いて」「市として利用者の調査を」と質しました。

ところが担当の都市建設部長は「市民説明会は考えていない」「市民の声をきくことと減便中止は別問題」「他の路線バスなど代替利用をお願いする」「すべての声に応えることはできない」と繰り返すばかりでした。逆に10月1日に始まる「オンデマンド交通」の実証実験を「部を上げて職員一同取りくんでいる」と、こまバス減便をすり替えるような答弁もあり、市民から選ばれた市議会議員に対し誠実さを感じませんでした。

6月に三選されたばかりの松原俊雄市長は選挙公約で「誰一人取り残さない社会を実現」「高齢者や独居世帯にやさしいまちづくりを」と掲げていたはずとの質問にまともに応えず、自らの姿勢を示しませんでした。

なおオンデマンド交通の「チョイソこまえ」は、事前予約が必要でシルバーパスを使えず、南部・北部エリアをまたいで移動する場合、運賃2回分600円必要です。

困るのは交通弱者

喜多見駅でこまバスから降車したばかりの女性に署名を呼びかけたら、堰を切ったように「朝や夕方の便をなくすなんてとんでもない」「1万円以上するシルバーパスを購入したのに、それが使えなくなる」「市長は市民や高齢者のことを何も考えていない」と怒り心頭でした。

9月上旬から「広報こまえ」やバス停に「ダイヤ改正」と称して掲示やホームページ紹介をしていますが、10月1日になってバス停で初めて「大幅減便」を知ること

になり、途方に暮れる市民がたくさんいると思います。

大幅減便撤回求める運動

こまえ社保協は、9月29日(火)に2回目の署名提出を決めています。累計で1,000人以上の賛同を得ています。今後は運行する小田急バスや高齢者団体との連携も視野に入れて運動を広げようとしています。

(東野川・前土肥保 9月24日記)



こまえ社会保障推進協議会 (社保協) 第14回総会

日時 11月7日(土)10～12時

会場 東京土建狛江支部会館2階会議室

医療保険や介護保険の改悪が進行しています。総会は冒頭に社会保障の現状を外部講師に講演していただきます。

どなたでもご参加いただけますので、どうぞおいでください。

公費でのP F A S血液検査を求める署名 1.5 万筆を東京都に提出

PFAS 汚染を明らかにする狛江の会 代表 重国たけし

9月10日、「多摩地域のP F A S汚染から命と健康を守る連絡会」（「狛江の会」も参加）は、東京都に、有機フッ素化合物（P F A S）の公的な血液検査の体制づくりを求める署名約1万5800人分を提出しました。

署名は半年ほどで、オンライン署名1万1975人分、紙の署名3856人分が集められました。「狛江の会」も、展示会や学習会などの機会に集めた紙の署名約70筆を提出しました

予防と健康影響把握へ大規模血液検査を

署名の趣旨では、都の水道水の調査でも広範な地域でP F A S汚染が確認され、連絡会の前身となる市民団体が行った791人を対象とする血液検査（市民検査）では約半数から米国アカデミーの基準値を超える濃度のP F A Sが検出されたことを指摘。

「深刻な健康リスクが明らかになっている」として、予防と健康影響の把握のため、都民が公費で血液検査を受けられる仕組みづくりの1点に絞って要請を行いました。全国では、希望する住民に公費でP F A S血液検査を実施する自治体も広がってきています。

代表して要請趣旨を述べた「国分寺市の会」の水谷さんは、地下水汚染が広がっており、知らずにその水を飲み続けていた市民の血液検査では84人のうち94%の人が米国アカデミー基準値を超えていたこと、うち2人はすでにがんなどで亡くなっていることを指摘しました。さらに、P F A S血中濃度の高い市民のなかには「高脂血症から脳梗塞になったり、腎臓を摘出した人などもある。P F A Sの影響と断言はできないが、関係がないとも断言はできない。早期検査で異常が見つかったら、早期に治療できることが重要」とのべました。

「市民検査」には狛江からも21人が参加し7人が米国アカデミーの基準値を超えていました（23年9月）。継続的な検査が求められますが、現在、自費で血液検査を受けるには1回1万2千円ほどがかかります。

署名提出には、日本共産党、立憲民主党系、グリーンな東京など、超党派の都議が同席しました。

都保健医療局の環境保健事業担当課長は「いただいた要望や声は重く受け止め、庁内で共有する」と回答しました。

沖縄では基地が汚染源と米軍が認めるも 日本政府が隠ぺい

参加した各地の住民からは、「横田基地が大きな汚染源と考えられるが、科学的に解明するためにも、都が大規模な検査に乗り出すことが重要」、「子どもの血液検査でもP F A Sが検出されている。継続的な検査が必要」などの要望が出されました。

沖縄県では、県内の在日米軍基地がP F A Sの汚染源であることを事実上認め、米軍はその公表を容認していたにもかかわらず、日本政府が隠ぺいしていたことが各紙で大きく報じられました（9月9日朝刊など）。私はこのことを踏まえ、「横田基地でも同様のことがないのか、国に説明を求めてほしい」と東京都に要望しました。

発がん性物質P F A S地下水汚染から命と健康を守るためにも、汚染実態の解明が急がれます。



東京都保健医療局の担当課長（右）に署名を手渡す市民団体のメンバー（9月10日、都庁内）



10月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。

※本紙に折り込んでほしいピラなどは、260部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
2日(金) 10時～	みんなの広場	「豊かな狛江」11月号 編集会議	
3日(土) 17時～18時	狛江駅前北口 広場	Silent Standing	平和憲法を広める狛江連絡会
5日(月) 9時～	市議会議場	市議会第3回定例会最終日	
9日(金) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	9の日行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民実 行委員会
15日(木) 16時～	中央公民館 多目的室3	《平和憲法を広める狛江連 絡会》《こまえ九条の会》 合同世話人会	新しい方の参加大歓迎です。
17日(土) 10時～	西河原公民館 学習室2	新婦人学習会「隠れ教育費 のこといっしょに考えてみ ませんか」	新婦人狛江支部
17日(土) 16時30分～	中央公民館多 目的室1	市政を考える会第6回学習 会「公共交通について」	市政を考える会
21日(水) 10時～12時	東京土建狛江 支部会館	戦争なんてイヤだ！狛江市 民実行委員会	各加盟団体の皆さんは、ご出 席ください。
26日(月) 10時～12時	東京土建狛江 支部会館	こまえ社保協 事務局・役員会	
26日(月) 14時～16時	みんなの広場	拡大世話人会	
27日(火) 9時30分 ～11時頃	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』 11月号の製本・仕分け作業	世話人以外の方の参加歓迎で す。
28日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の 会》の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支部 が中心。

こまえ平和フェスタ2026

聴いて語ってつながる未来～コマエでつむぐ平和のカタチ～

9月6日（日）、雨の強く降る中を300名の方々が来場されました。昨年より50名ほど減少し、コロナ以後少しずつ増やしてきましたが、それを停滞させてしまいました。分析し今後活かしていきたいと思います。読者の皆様には出演やスタッフ、協賛金に協力していただきありがとうございます。

皆様が、三角市議会議長の挨拶、松原市長のメッセージ、佐久間実行委員長の挨拶を始め、子どもを含む平和フェスタ合唱団による「ドレミの歌」や「見上げた空から」の合唱を、中学生による「日本国憲法と私たち」の朗読劇を、そして高校生の「いま平和について思うこと」の座談会を聴かれ、憲法の大切さや若者の平和についての思いを受け、どうやって平和な社会を築いていくのか、決してあきらめないで考え続けていくことのきっかけになって頂けたら嬉しいです。事情により来場されなかった方にもホームページで文章による公開をしています（一部予定）ので、ぜひご覧ください。

<https://komae-heiwa-fes.clean.to/>

今年は展示も充実していたかと思います。狛江市・調布市の平和事業、ちょうふピース部の平和活動（沖縄派遣・映画でたどる太平洋戦争・長崎派遣）、和光中学校の平和学習を始め、市民公募の俳句・短歌・川柳と絵手紙・ちぎり絵、紙芝居「戦争と狛江の子ども達」継承活動、核兵器廃絶をめざしての沖縄慰霊の日、広島・長崎の平和の日、三小放課後クラブの平和の日、平和フェスタ22年の歩み、などオリジナル作品満載でした。そして油絵「バレリーナの祈り」（ウクライナ避難者支援）、パステル画「春緑に囲まれた家」は展示会場を引き締めていたと思います。展示期間も一部ですが、こまえくぼさんの協力で9月末まで実施できました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

来年は8月29日（日）エコルマホール開催を予定しています。ご期待ください。

こまえ平和フェスタ実行委員 西尾真人

（写真撮影：周東）



開幕宣言する子どもたち



開幕で「ドレミの歌」の合唱する平和フェスタ合唱団



司会の二人



閉幕では市歌「水と緑のまち」を会場全員で合唱



エコルマホール・ホワイエ展示



平和図書コーナーからひとこと

中央図書館の協力を得て団体貸出 139 冊を借用、子どもの本を中心に戦争と平和関連図書を集め、戦争のさまざまな姿、平和を願う・平和を伝えるなど8つのテーマに分け展示しました。(一部をリストにしてプログラムと一緒に参加者に配布)

来場者のみなさんは舞台の合間に手に取って熱心にご覧になっていました。今回舞台では若い世代が活躍しましたが、図書コーナーでは、あまりこどもたちの姿を見かけず、ちょっぴり残念。そんな中調布ピース部のスタッフのみなさんが立ち寄ってくれてうれしかったです。

実際に戦争を体験した方々が急速に減る一方、世界では戦争がいっこうにやむ気配が見えません。絵本を含む本を通して子どもたちが少しでも戦争と平和について知り、考えるきっかけになればと思います。被爆者の深い悲しみと限りないやさしさを伝



える写真絵本「被爆者 60 年目のことば」(会田法行写真・文)、第二次大戦後持ち主と再会するテディベアを描いた絵本「オットー」(T・ウンゲラー作・絵)等々。

来年は親子連れやお孫さんを連れて立ち寄る方が一組でも増えますように。(林健彦)

玉翠園跡地の石垣の現状

現在の根川公園の隣地に、1913 年開業した料亭「玉翠園」の石垣が残されています。多摩川の堤防が作られる以前の人々の営みを残す貴重な文化遺産であると同時に、戦中戦後の朝鮮に対する日本の加害の歴史を伝える戦争遺跡です。今年 4 月に行われた狛江市建設環境常任委員会で、この石垣を保存する請願が賛成ゼロで否決されました。（詳しくは、「豊かな狛江」2026 年 2 月号・5 月号をご参照ください）

ここに 2031 年度の運転開始に向けて、ポンプ場の建設が進められているところですが、まだ暫くはこの石垣を見ることができます。先日 9 月 26 日には市の下水道課が、現地の見学会を実施しました。

（今後行う予定は、今のところないとのこと）

高市政権になり、中国への敵視・軍事費の大幅増額・スパイ防止法・憲法改正など戦争準備が着々と進む中、こうした遺構の貴重な意味を、我々市民がしっかり継承していくことの重要性を感じます。

（岩戸北 須崎 淳一郎）



取り壊し目前?! 玉翠園の石垣保存を再度求める

当「会報」第 307、309、310 の 3 号に亘って玉翠園の石垣に関わる報告が掲載されています。報告・投稿者の井上和彦さん、西尾真人さんの二人は、玉翠園の石垣の歴史的文化的価値・保存することの意義を明らかにし、市に“石垣を何とか保存して欲しい、保存する方向で根川ポンプ場の設計を変更してほしい”と陳情しました。しかし、4 月 17 日の建設環境常任委員会で、賛成ゼロで否決されました（詳細は会報をご覧ください。その後、本会議で否決）。

最近になって工事が進んでいる現場を覗き見て私は驚きました。工事によって石垣全体が露出した結果、石垣はこれまで見られた地上部分の倍程の地下深くまで達していたのです（写真）。

初めて目にした想定外のスケールと玉石積みの美しさに、私はある種の感慨を覚えました。やはりこの石垣は、玉翠園を多摩川の水から守ってきたこの場所で・この姿で存在してこそ意義がある。解体して玉石を公園整備に利用するなど姑息なことはやってはならないとの確信をいっそう深めました。

それだけでなく、在日朝鮮人への迫害の舞台にも繋がった歴史を消し去り、何もなかったかのように事態を創り上げることになりはしないかと危惧します。

根川からそう遠くない住まいの私は、抜本的な水害対策を望むことは言うまでもありません。だからこそ、市民の命を守ることと歴史的・文化的遺産を保存することとが両立できるように、再設計してほしいのです。

素人目にも石垣の取り壊しは目前に迫っているように見えます。その状況に危機感を覚えつつ再度保存を求める次第です。

（中和泉 石川 巖）



9・3 Silent Standing

3日(木) 17時～18時 狛江駅北口

平和憲法を広める狛江連絡会

7人の参加でアピールしました。



9月9日の九の日行動は雨天のため中止
戦争なんてイヤだ！ 狛江実行委員会

市政を考える会

第6回学習会

「公共交通を考える」

10月17日(土) 16時30分から

中央公民館多目的室1

新婦人狛江支部学習会

「『隠れ教育費』のこと、いっしょに
考えてみませんか」

10月17日(土) 10時から

西河原公民館学習室2

講師：柳澤靖明氏

(「隠れ教育費」研究室チーフディレクター)

狛江の風物誌



ヒガンバナ

その名の通り今年も彼岸の入りに道路沿いの街路樹の下を一斉に彩った。球根はアルカロイドを含む毒性があるため雑草対策やネズミやモグラよけに田の畦に植えられたと言う。一方球根はデンプンを含むため、すりつぶしてなんども水にさらして毒を抜き、飢饉のときの救荒植物として団子や雑穀と混ぜて食べられたようだ。

(中和泉 周東三和子)

